

参加費
無料

「見守るためのマップ」から「見守られるためのマップ」へ

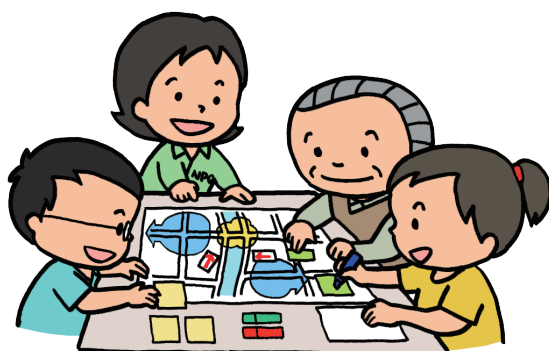
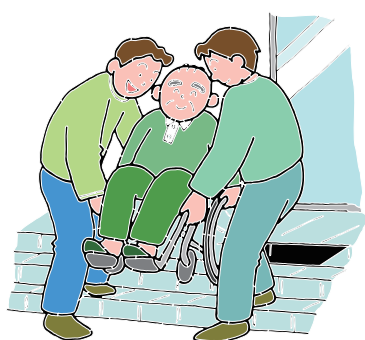
「住民歴書とエゴマップづくり」研修会

全国各地で「支え合いマップづくり」が実施されているなか、その「支え合いマップづくり」とは全く反対の手法で展開していくのが「住民歴書」と「エゴマップづくり」です。

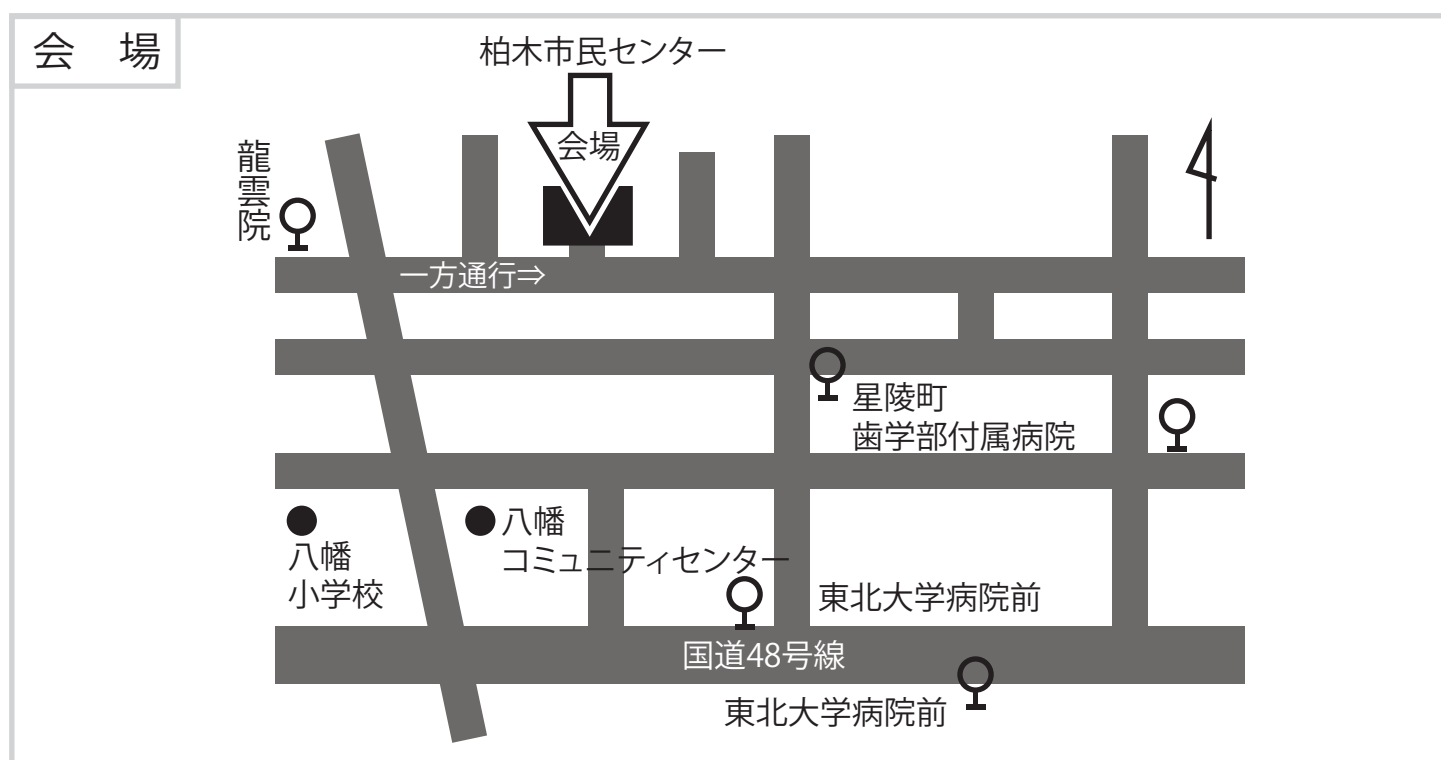
「支え合いマップづくり」とは、地域の世話焼きさん（実際には、民生委員、地区社協役員、町内会役員、サロン世話人などが主）らを集会所等に召集し、本人のいないところで「気になる人のお宅は？」と…展開していき、「支える側による支えるためのマップづくりが本人の知らないところで展開される」というものになります。

「住民歴書」と「エゴマップづくり」が、「支え合いマップづくり」と異なる大きな特徴は、「地域の“気になる人”たち自らが自分の生活地図を描いていく」というところにあります。「気になる人」たちご本人にご参画頂き、自分たちの「これまでの生活」「今の生活」を可視化し、「これからの生活（5年後、10年後の自分の暮らしぶり）」を考え、それに必要なこと（もの）を地域全体の課題として整備していきましょう。

この研修会では「本人と地域・地域資源との繋がり確認作業」を「本人の暮らしぶりを聞き取りながら」行なっていく「住民歴書」と「エゴマップづくり」の方法を学びます。



- 日 時：2013年3月30日（土）／10:00～16:00
- 会 場：柏木市民センター 1階会議室 （仙台市青葉区柏木3丁目3-1）
- 定 員：50人（先着順）
- 対 象：民生委員、福祉委員、地区社協職員、町内会役員、サロン世話人、自治体関係者、NPO職員ほか
- 講 師：酒井 保 近所福祉クリエイター／広島県 石黒 秀喜（財）長寿社会開発センター 事務局長／東京都
- 主 催：国見地区地域支え合いセンター（現地事務局：国見・千代田のより処 ひなたぼっこ）



プログラム

09:50～10:00 ★開 会

10:00～12:00 ★基礎研修

[内 容]

① 支え合い活動の現状について／「支え合い」そもそも論

② 『豊かさ』というものの理解

③ 「出来るの受容」と「出来ない露呈」／ホンモノの「支え合い」づくり5つのポイント

④ バケツ理論の心得

12:00～13:00 ★昼 食 ・ 休 憩

13:00～14:00 ★演習 1 ／住民歴書の展開手法

[内 容]

① 「住民歴書」の展開について／場面づくりと役割分担

② 「知ってもらいたい過去」のこと

③ 「住民歴書とエゴマップづくり」のあらまし

④ 「見守るためのマップづくり」から「見守られるためのマップづくり」へ

14:00～15:00 ★演習 2 ／「住民歴書」を「エゴマップ」へ転記…の展開手法

[内 容]

① マップの描き方／「住民歴書」をマップへ転記

② まずは、他人のマップとごちゃ混ぜに…／「自分事」と「他人事」を一緒に可視化する

③ ワイワイガヤガヤ…を鉄則とする／「井戸端会議」をイメージ

15:00～16:00 ★まとめ・事例と成果（効果と応用）／各地の事例紹介

[内 容]


① 『意味づけ』による成果の評価／「もののついで」と「お裾分け」

② 「豊かさのシナリオ」を描くという支援

③ 「やる」か？「やらない」か？

④ 出来上がったマップが「完成」…ではないことを理解する

★講師プロフィール



酒井 保(さかい たもつ)


株式会社アイリーフ
ご近所福祉クリエイター

1961年広島生まれ。知的障害者福祉施設勤務を経て、大野町社会福祉協議会（現；廿日市市社会福祉協議会大野事務所）に入職。 2010年より小規模多機能アイリーフ八幡の里・グループホームアイリーフ五日市（広島市佐伯区八幡）の施設長に就任。認知症介護研究・研修東京センター「認知症の人が暮らす地域づくりに関する研究委員会（厚労省委託事業）」に参加。広島県老人大学講師。広島市老人大学・老人大学院講師。広島市介護予防リーダー養成講座講師。2012年度岡山市地域支援サポーター養成講座講師。2012年度鳥取県西部民児協・福祉問題研究会講師。2012年度大分県日出町共同募金事業まちづくり講座講師。2012年度倉敷市高齢者包括支援センター研修講師。広島文教女子大学エクステンションセンター公開講座講師。2012年度岡山市安全・安心ネットワーク地域応援人づくり講座講師。2012年度佐賀県白石町ご近所福祉研修会講師など。

要援護者のニーズ発掘手法として「住民歴書＆エゴマップ」を考案。実践の具体をRCCラジオでぜん様さまにて紹介。愛媛県八幡浜市災害時要援護者支援マップづくりや岡山県津山市、同県鏡野町、美咲町、吉備中央町、広島市東区、西区などで要援護者を主体とした実践を展開中。広島県在住。

イラストレーター。

★講師プロフィール



石黒 秀喜(いしぐろ ひでのぶ)

(財) 長寿社会開発センター 事務局長

1950年（昭和25年）北海道の大沼公園の近くで生まれる。

1968年（昭和43年）国立函館視力障害センター勤務 その後異動多々。

2003年（平成15年）厚生労働省老健局介護保険指導室長。

2005年（平成17年）厚生労働省大臣官房参事官。

2008年（平成20年）厚生労働省退職

(財) 長寿社会開発センター勤務。

認知症になった義母とそれを支える義父やその家族が私にとって生きた教科書である。自分なら、老いてどのような時間の使い方をして、どのような住まい方をして、そのような人生の閉じ方をするのか、人生のゴールをイメージした“自己防衛のすすめ”を提唱している。

お申し込み・お問い合わせ 参加をご希望の方は、下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

国見地区地域支え合いセンター（現地事務所：国見・千代田のより処 ひなたぼっこ内） 担当：高橋・八田
〒981-0936 仙台市青葉区千代田町1-13 TEL:022-343-1340 FAX:022-301-8821
E-mail kunimi_hinata@clc-japan.com

「見守るためのマップ」から「見守られるためのマップ」へ
「住民履歴書とエゴマップづくり」研修会 参加申込書 FAX **022-301-8821**

申込者				団体名			
所在地	〒	(自 宅 ・ 職 場)	TEL				
			FAX				